

令和元年 8 月八幡平市教育委員会定例会

日時 令和元年 8 月 23 日（金）午後 3 時 00 分
場所 八幡平市役所本庁舎 3 階大会議室

《次 第》

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 報告事項

(1) 各課から報告

4 付議する事件

議案第 1 号 平成 30 年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し、議決を求めることについて

5 そ の 他

6 閉 会

令和元年8月八幡平市教育委員会定例会

日 時 令和元年8月23日(金)
午後3時00分から 時 分

場 所 八幡平市役所 大会議室

出席者 教育長 星 俊 也
委 員 羽 沢 憲 英
委 員 宮 野 朋 士
委 員 高 橋 優 子
委 員 伊 藤 政 行

説明員 教育総務課長兼学校給食センター所長 工 藤 久 志
兼図書館長

教育指導課長兼教育研究所長 川 村 憲 弘

事務局 教育総務課長補佐兼総務係長兼給食センター副所長 佐々木由理香

傍聴人 人

令和元年9月 八幡平市教育委員会行事計画

令和元年8月24日～令和元年9月30日

月 日	行事等の内容	場所等	担当
8月24日(土)	市生涯学習推進大会	西根地区市民センター	地域振興課
8月25日(日)	寺田地区運動会	寺田小学校校庭	地域振興課
8月26日(月)	教育支援委員会調査員会議	本庁舎3階大会議室	教育指導課
8月28日(水)	第5回校長会議	本庁舎3階大会議室	教育指導課
8月29日(木)	第67回岩手地区中学校陸上競技大会	雫石総合運動公園陸上競技場	教育総務課
9月1日(日)	八幡平市防災訓練	寄木小学校	防災安全課
9月4日(水)	田山小学校公開	田山小学校	教育指導課
9月5日(木)	市議会第3回定例会開会(予定)	議場	総務課
9月6日(金)	第20回岩手地区中学校駅伝競走大会	雫石総合運動公園陸上競技場	教育総務課
9月8日(日)	あっぱりレーマラソン2019 開会式	安比スキーセンター前特設会場	地域振興課
9月11日(水)	小学校陸上記録会	市総合運動公園多目的運動広場	教育指導課
	市まち・ひと・しごと創生有識者会議	ホール棟多目的ルーム1	企画財政課
9月12日(木)	令和元年度岩手県公立学校退職校長会第46回県研修・親睦会岩手大会	雫石町野菊ホール	教育総務課
9月13日(金)	小学校陸上記録会(予備日)	市総合運動公園多目的運動広場	教育指導課
9月15日(日)	五日市地区敬老会	五日市コミュニティセンター	健康福祉課
9月17日(火) ～10月4日(金)	市議会第3回定例会	議場	総務課
9月24日(火)	教育研究所部会授業研究会	大更小、松野小、寄木小、西根中	教育指導課
9月25日(水)	江間章子賞選考委員会	ホテルメトロポリタン盛岡	教育総務課
	教育委員会9月定例会	本庁舎3階大会議室	教育総務課

議案第1号

平成30年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し、議決を
求めることについて

平成30年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果について、別紙のとおり作成し
たので、委員会の議決を求める。

令和元年8月23日提出

八幡平市教育委員会教育長 星 俊 也

提案理由

八幡平市議会第3回定例会において、平成30年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取
組結果の報告をするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和元年八幡平市議会第3回定例会

平成 30 年度施策結果報告書

八幡平市教育委員会

それでは平成 30 年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果についてご報告申し上げます。

八幡平市教育委員会では、市の「第 2 次八幡平市総合計画基本構想」の基本方針に掲げている「心身ともに健康で活力に満ちたまちづくり」を基本に据えて、国、県の動静と呼応しながら、「八幡平市の次代を担う人づくり」を目指し、教育・文化的活動の充実に努めてまいりました。

はじめに、学校教育についてでございます。

平成 30 年度は、令和 2 年度からの新教育課程にも引き継がれる、学習指導要領の趣旨である「児童生徒の『生きる力』、すなわち知、徳、体のバランスのとれた力をより一層育むこと」と「社会に開かれた教育課程」の理念を受け、市の学校教育方針である「豊かな人間性と創造性に富み、社会の変化に主体的に対応し、未来を切り拓いていくことのできる心身ともに健全な児童生徒の育成」を目指し、次の 6 つの事項を重点的に推進してまいりました。

1 つめは「深い学びを促す学習指導の充実」であります。

平成 30 年度も、児童生徒の学力保障を学校教育の最重点課題に位置づけ、市教育研究所事業及び中学校区の小・中連携事業を通して、小・中学校の教員が相互に授業を参観し、共通実践を進めながら教員の授業力の向上を図ってまいりました。

岩手県学習定着度状況調査の際に行われた、学校への質問紙調査の集計結果では、「教員相互の授業参観の取組」や「県学調、全国学調の問題を全教員で解いてみる時間の設定」に、14 校すべてが積極的に取り組んだという報告がなされており、学力保障に向けた取り組みは、着実に浸透しております。

市教育研究所では、新学習指導要領で育みたい資質・能力の視点である言語力、問題発見・解決力、創造性、協働性を培う授業についてそれぞれ研究部会を設定し、市内小・中学校の全教員による授業研究を推進しました。これまで取り組みを進めてきた成果を活かしながら、児童生徒に確かな学力を保障する学習指導の充実に努めてまいりました。

2つめは、「豊かな心を育てる教育の充実」であります。

各学校において策定した「学校いじめ防止基本方針」に基づき、児童生徒一人一人の学級集団や、人間関係に関する状況を的確に把握し、早期発見と適切な初期対応を心がけ、全職員による組織的な対応を図りながら、いじめ問題の解決に誠実に取り組んでまいりました。各学校におけるいじめの認知件数が増え、各事案に適切に対応することができております。

また、不登校、学校不適応の未然防止、早期発見・初期対応のために、県から配置されるスクールカウンセラーを有効に活用するとともに、年2回の教育相談会の実施と、教育相談員、適応指導教室指導員、適応支援相談員を配置するなど、教育相談体制の充実を図ってまいりました。

3つめは、「体力・運動能力の向上と健康の保持増進」であります。

児童生徒の肥満傾向や運動習慣、体力低下の改善などに向けて、県の取り組みである「希望郷いわて 元気・体力 60運動」の推進を中心に、各学校における日常の教育活動としての取り組みと、家庭・地域と連携した学校外の取り組みの両面から進めてまいりました。

4つめは、「総合生活力・人生設計を高めるキャリア教育の充実」であります。

各学校の「キャリア教育全体計画」を基に、児童生徒の発達段階に応じ、学校教育活動全体で計画的・継続的・組織的に取り組むことにより、児童生徒が、将来、社会人、職業人として自立した生活を営める能力を育成してまいりました。八幡平市の次代を担う児童生徒が、農（みのり）と輝（ひかり）の視点から、地域を見つめ、地域の良さを実感していける体験活動の充実を図ってまいりました。

5つめは、「ニーズに応じた指導の充実」であります。

特別な配慮を要する児童生徒に支援員を配置することにより、一人一人のニーズに沿った特別支援教育の充実を図ってまいりました。また、各学校を継続的に訪問し、県や盛岡教育事務所と連携しながら特別の教育課程、指導方法に関する相談や支援を進めてまいりました。各学校における特別支援教育の体制や環境が整い、支援の充実が図られております。

6つめは、「地域理解の推進と地域とともにある学校の実現」であります。

各学校において、児童生徒の実態や保護者、地域の実状と願いに基づき、目指す児童生徒像を具体的な姿で「まなびフェスト」として設定し、それを児童生徒、家庭、地域、学校が共有し、学校・家庭・地域が連携・協働しながら児童生徒を育成する学校経営を推進し、その取り組みの結果を、保護者・地域に公表し、成果と課題を共有してまいりました。

また、教育活動のなかに、八幡平市の産業や自然、伝統文化、人材など、すばらしい環境を生かし、農業体験や伝統芸能の伝承、自然環境の調査・保護などの活動、近隣の福祉施設の訪問ボランティア活動などを積極的に導入して、地域理解を推進するとともに「地域とともにある学校」の実現を図ってまいりました。

学校運営協議会については、先進校2校の取り組みを参考に、市内4校の小・中学校が設置に向けて準備を進めてまいりました。市内の全校で情報を共有し、地域や学校の実情に応じたコミュニティ・スクールの取り組みを推進しており、令和2年度には市内全校がコミュニティ・スクールとして、一層地域との連携を図っていくこととしております。

これら6つの重点事項の推進には、学校の教員の指導力はもとより、児童生徒や保護者との信頼関係が大切です。児童生徒理解のための研修の充実を図るとともに、市内小・中学校の教員が自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めながら法令遵守を徹底し、綱紀の保持を図ってまいりました。

次に、経済的な理由などから就学が困難な児童生徒に対し、就学支援を引き続き実施するとともに、小・中学校に入学予定の児童生徒には、入学前に学用品費等の支給を行ってまいりました。また、遠距離通学の児童生徒の通学負担の緩和のため、スクールバスを運行するとともに、松尾地区の車両1台を更新しました。

読書は、児童生徒の学力の育成と豊かな人間性を培うことにつながります。学校図書館の利用促進のため、学校図書館司書を配置し、図書館の活用の充実を図ってまいりました。また、平成30年度から、言語力育成及び地域学習の一環として、小学校へ地方紙1紙、中学校へ地方紙及び全国紙を1紙ずつ配備いたしました。

外国語活動につきましては、音声を中心に外国語に慣れ親しませ、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うというこれまでの取り組みを土台とし、令和2年度からの小学校3～4年生の英語の必修化、5～6年生の教科化に向けて大きな変革を迎えることから、市内すべての小・中学校に外国語指導助手を派遣し、英語教育の充実を図ってまいりました。

各学校のパソコンにつきましては、松尾・安代地区小学校の校務用パソコンの更新を行いました。引き続き、授業、校務、情報発信、それぞれに対応した適切な情報環境整備を図ってまいります。

学校教育施設につきましては、計画的に安全で快適な学習環境を保つために、防犯カメラを田頭小・寄木小・安代小に設置し、また、小・中学校保健室にエアコンを設置しました。

幼稚園支援事業につきましては、私立幼稚園への就園に対し就園奨励補助や、第3子以降の園児を対象とした保育料助成を引き続き実施し、保護者の経済的負担の軽減に努めるとともに、私立幼稚園の運営につきましても、運営費を補助するなど側面から支援してまいりました。

学校給食につきましては、地産地消の推進や食に関する指導を行うことにより、自然の恩恵及び郷土の食材に対する意識の高揚を図るとともに、安心・安全でおいしい給食が提供できるよう、施設等環境の整備を図り、衛生管理の徹底に努めてまいりました。

読書活動の推進につきましては、図書館、図書室を中心にして市民が読書に親しめる環境づくりを目指し、学習課題に合わせた読書活動の支援・機会の提供に取り組むとともに、一部業務委託により図書館の利便性向上に努めてまいりました。

以上、平成30年度の八幡平市教育委員会の主要な施策への取り組みについてのご報告とさせていただきます。

令和元年9月20日

八幡平市教育委員会 教育長 星 俊 也